

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	英語演習		
英文授業科目名	Intermediate Seminars in English		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	松原 好次		
居室	東1-807		

公開E-Mail	授業関連Webページ
matsubara-k@bunka.uec.ac.jp	なし

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>(a)主題： 理科系の学生にとって、事実を客観的に記述したり、出来事を報告したり、機械・器具の使い方などを説明したりすることは、欠かすことのできない素養である。上記の技法に焦点を置く英語のライティングが Expository writingである。</p> <p>(b)達成目標： 本科目の達成目標は、読み手にとって分かりやすい英文を書く技能の修得である。つまり、文と文を有機的につなぐことによって、読み手が無理なく読み進めていける英文の構成を学ぶ点にある。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
Academic Written English I & II Academic Spoken English I & II

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

【教科書等】

杉原厚吉『理科系のための英文作法—文章をなめらかにつなぐ四つの法則』（中公新書）

【授業内容とその進め方】

(a)授業内容：

第1回 文と文を滑らかにつなぐ技術

第2回～第6回 つなぎ表現（帰結・理由・逆接・仮定・条件・換言・例証・列挙などをあらかず表現）

第7回～第9回 文の階層構造

第10回～第11回 古い情報の引き継ぎ

第12回～第14回 文章の流れと視点

(b)授業の進め方：

（1）教科書の例文（英文）を読み、文と文をつなぐコツを理解する。

（2）日本語の新聞・雑誌等に掲載されている図表を見ながら、その内容を口頭で説明する。そのあとで、クラスメートの質問に答える。

（3）どのような順序で、どのように説明したら、読み手（聞き手）にとって分かりやすくなるかを考えながら expository writing を行なう。

（4）書いた説明文を読み上げる。そのあとで、教師及びクラスメートからの質問に再び答える。

（5）改善のための指摘を教師及びクラスメートから受ける。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

(a)予習：

教科書の指定箇所を読んでおく。

(b)復習：

発表後の原稿を推敲する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法：

授業における発表（40%）及び提出された説明文（60%）

(b)評価基準：

以下の到達レベルをもって合格点の最低基準とする。

（1）毎授業時の発表で聞き手にとって分かりやすい説明ができていること。

（2）読み手にとって分かりやすい構成の英文が書けていること。

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

<b>【オフィスアワー：授業相談】</b>
授業終了後

<b>【学生へのメッセージ】</b>
文と文を滑らかにつなぐコツの修得は、日本語を書くうえでも重要です。文章修行のつもりで技能修得に努めてください。

<b>【その他】</b>
特になし